

今後の検討の進め方について（案）

平成23年4月

ICT地域活性化懇談会事務局

同時並行的に推進

(長期にわたる)被災地復興プロセス+その原動力となる国家としての**経済復興**

損壊した機能を単に復旧するのではなく、被災地が希望を持つことができる「新たな復興」につながる**マスタープラン**が必要

ICTの果たすべき役割

- 行政、医療、農林水産業等の効率化・高付加価値化、高い投資効果
- 復興段階における社会インフラの高度化(道路、電力、ガス・水道等)に大きく貢献。
- コミュニケーション力の強化による地域の「絆」、防災・被災対策に貢献

ICTを最大限活用した復興ビジョン

- 冗長性のある有機的なネットワーク連携による耐災害性に優れた新たな国土の形成(コンパクトシティをネットワークで結ぶ)
- 被災地を含め、地域(コミュニティ)の「絆」を強固なものとする「共生型ネット社会」の構築
- 生産拠点の海外流出による「産業の空洞化」を防ぎ、アジアの成長を取り込んだICT産業の復興を実現するためのグローバル展開の推進、相手国の課題解決への貢献
- 被災地の主要産業である農林水産業の復興、教育・医療・行政等の公的サービスの瞬断なき提供を実現するためのICT利活用の促進や新事業の創出
- 中期的な電力需給の逼迫に対応したグリーンICTの推進

■ これまでの開催実績等

2月10日(木) 第1回会合

2月22日(火)～3月17日(木) 「検討アジェンダ」に対する意見募集

3月 9日(水) 農林水産業に関する公開ワークショップ

4月28日(木) 第2回会合

■ 今後の開催予定

5月下旬 第3回会合 中間整理(案)に関する議論

6月下旬 第4回会合 提言(案)に関する議論